

「自立」

高城高校進路だより（保護者版）7/26版

《進路決定において知っておきたい基本知識》

保護者のみなさまにおかれましては日頃より本校の教育活動にご協力いただきありがとうございます。今回は、①本校における進路への取り組みの概要、②進路決定に向けての注意点、③進学におけるお金(費用)の話についてご紹介します。この機会にお子様と進路の話ををしていただけると幸いです。

① 本校における進路学習の取り組み

学年	進路行事
1年生	・進路ガイダンス（年4回程度） ・10月 企業郷土探究（都城市内の企業などの訪問見学）・放課後ゼミ開始 ・TKJタイムにおける公務員講座（希望者）
2年生	・進路ガイダンス（年4回程度） ・10月 インターンシップ（2~3日程度）・放課後ゼミ開始 ・TKJタイムにおける公務員講座（希望者）
3年生	・進路ガイダンス ・直前指導（面接の日・志望理由書・履歴書記入） ・TKJタイムにおける公務員講座（希望者）

② 進学推薦・就職推薦の内規について（高城高校ハンドブックより）

進学推薦	就職推薦
・3年次までの評定平均値が3.5以上 ・3年次までの欠席日数が15日を超える者は推薦しない。 ・推薦合格者の入学辞退は認めない。 辞退した場合は進学については推薦しない。	・3年次までの評定平均値が3.0以上 ・推薦は1回につき1社とする。 (10月以降は2社もありうる) ・内定後の入社辞退が起こった場合は受験時に企業が負担した諸経費は全額保護者が返還する。

本校の大半の生徒は学校推薦を利用して進路を決定します。1年次より欠席・遅刻・早退をしないように心がけることが重要になってきます。また、日頃の定期テストの成績・授業態度・提出物が評定平均値に大きく影響します。調査書等を通じてお子様の成績や出欠状況は大学・専門学校・企業等に伝わります。相手は採用のプロです。その場しのぎのごまかしは通用しません。少しでも自分の可能性を広げることができるように家庭でも声掛けをしていただくと助かります。

③ 知っておきたい奨学金にまつわる話

大前提として奨学金は借りた本人が返済する負債（借金）です。最近は日本学生支援機構(JASSO)においても返済しなくともよい給付型奨学金が登場しましたが、利子を含めて返済する場合がほとんどです。卒業後に返済が滞り自己破産するケースもあります。大学・専門学校卒業後に返済計画を立てられるだけの収入が得られるかどうかがカギになってきます。進学に関する費用をどう工面するかを話し合い、見通しを立てた上で利用を考えましょう。

（参考）日本学生支援機構 奨学金返済シミュレーター



《現在の奨学金制度の流れについて》

① 給付型奨学金が創設されました

2020年度より住民税非課税世帯・準ずる世帯の学生を対象に日本学生支援機構（JASSO）では返済不要の給付型奨学金が創設されました。入学料と授業料の減免ヒヤンセツになっています。学力・学修意欲・収入基準・資産基準で判断されるようになりました。詳細は日本学生支援機構のHPで確認してください。



（参考）日本学生支援機構 奨学金制度の種類と概要

② 自治体が返済の肩代わりをする場合もあります

特定企業への就職などを条件に自治体が奨学金の返済の肩代わりをするケースが増えてきています。宮崎県・都城市では下記のような取り組みが実施されています。詳細を知りたい方はQRコードから検索してみてください。

自治体名	事業名	内容
宮崎県	「ひなた創生のための奨学金返済支援事業」	指定企業への5年間の勤務で最大150万円の負債を肩代わり
都城市	「都城市未来の人材確保に向けた奨学金返済補助金」	（限度額）貸与を受けた年数×30万円

「ひなた創生のための奨学金返済支援事業」



「都城市未来の人材確保に向けた奨学金返済補助金」



進学にかかる費用については、裏面の資料を参考にしてください。

本日、宮崎県桜さく成長応援ガイドも配布しましたのでそちらも参考になさってください。

保護者の皆様へ

Google フォームにてご意見・ご感想・ご質問をお寄せください。質問等には今後の進路だより等を通じて回答させていただきます。また、今後の本校においての進路指導の参考にさせていただきます。

